

帆輪

1994.6.23
Vol.1.16

第8次展帆 デビューアイア

財團からのお知らせ

記念写真の配布について

さる六月五日(日)に行われた総帆展帆には一二一名のボランティアの方々が参加され、快晴の下、海王丸の二九枚の帆をひろげました。この中には第八次展帆ボランティア訓練修了者三六名のうち、三船展帆ボランティアとなられました。

六月五日 財團理事会、評議員会が、展帆中の海王丸パークの日本海交流センターで開催、町田会長(「JR貨物名誉会長」) 審賀副会長(「富山県副知事」)が展帆ボランティアを激励し、また全員で記念写真に納まりました。

役員会では、財團の主たる事務所が東京都千代田区から、富山県新湊市に変更することに決まり、ここに名実共に富山県の船舶ということになりました。また、海洋教室の利用も小学生が中心とはいえ高校生、社会教育団体へも門戸を広げることにきました。

(勝山)



船板難の内、訓結海内、練習洋海、生椰洋教、宿泊、船室、国際、子供達は、子供達が、甲避ブ

海王丸の主な事業である「海洋教室」が今年も始まりました。海王丸ボート、スカウト、海洋教室は、子供達がローブ

行われる「海洋教室」を対象に今年初実施しました。海王丸泊り、高岡の甲避ブ



海王洋講座

「海と船の俳句」
講師 三橋 敏雄 氏
元 帆船海王丸、日本丸事務長
現代俳句協会会員、句集 多数
みなさん、ふるつてご聴講くだ
さい。



「海と船の俳句」
講師 三橋 敏雄 氏
元 帆船海王丸、日本丸事務長
現代俳句協会会員、句集 多数
みなさん、ふるつてご聴講くだ
さい。

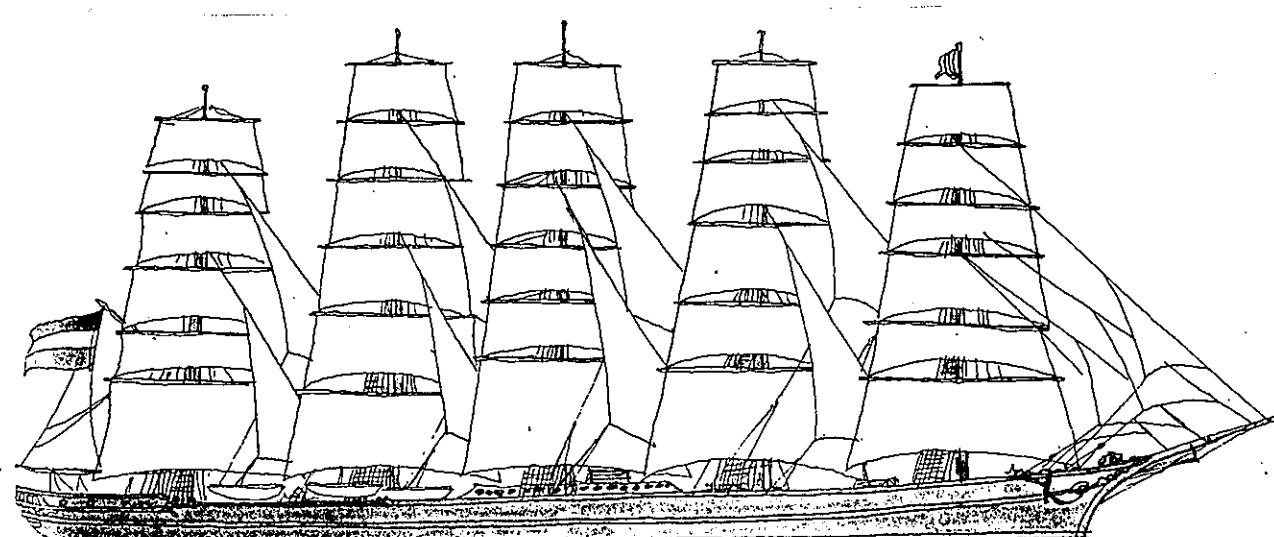
「海と船の俳句」
講師 三橋 敏雄 氏
元 帆船海王丸、日本丸事務長
現代俳句協会会員、句集 多数
みなさん、ふるつてご聴講くだ
さい。

「海と船の俳句」
講師 三橋 敏雄 氏
元 帆船海王丸、日本丸事務長
現代俳句協会会員、句集 多数
みなさん、ふるつてご聴講くだ
さい。

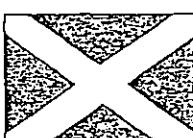
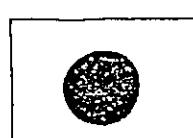
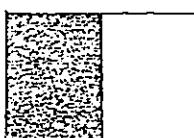
「海と船の俳句」
講師 三橋 敏雄 氏
元 帆船海王丸、日本丸事務長
現代俳句協会会員、句集 多数
みなさん、ふるつてご聴講くだ
さい。

「海と船の俳句」
講師 三橋 敏雄 氏
元 帆船海王丸、日本丸事務長
現代俳句協会会員、句集 多数
みなさん、ふるつてご聴講くだ
さい。

Tシャツの配布について
今年度の総帆展帆に参加される方は、「すでに受け取られていて
ますが、今年も展帆ボランティアの方にTシャツを配布しております。
まだ、受け取られていない方は、総帆展帆時にお申し付けください。



世界最大のシップ型帆船プロイセン号(1902年)

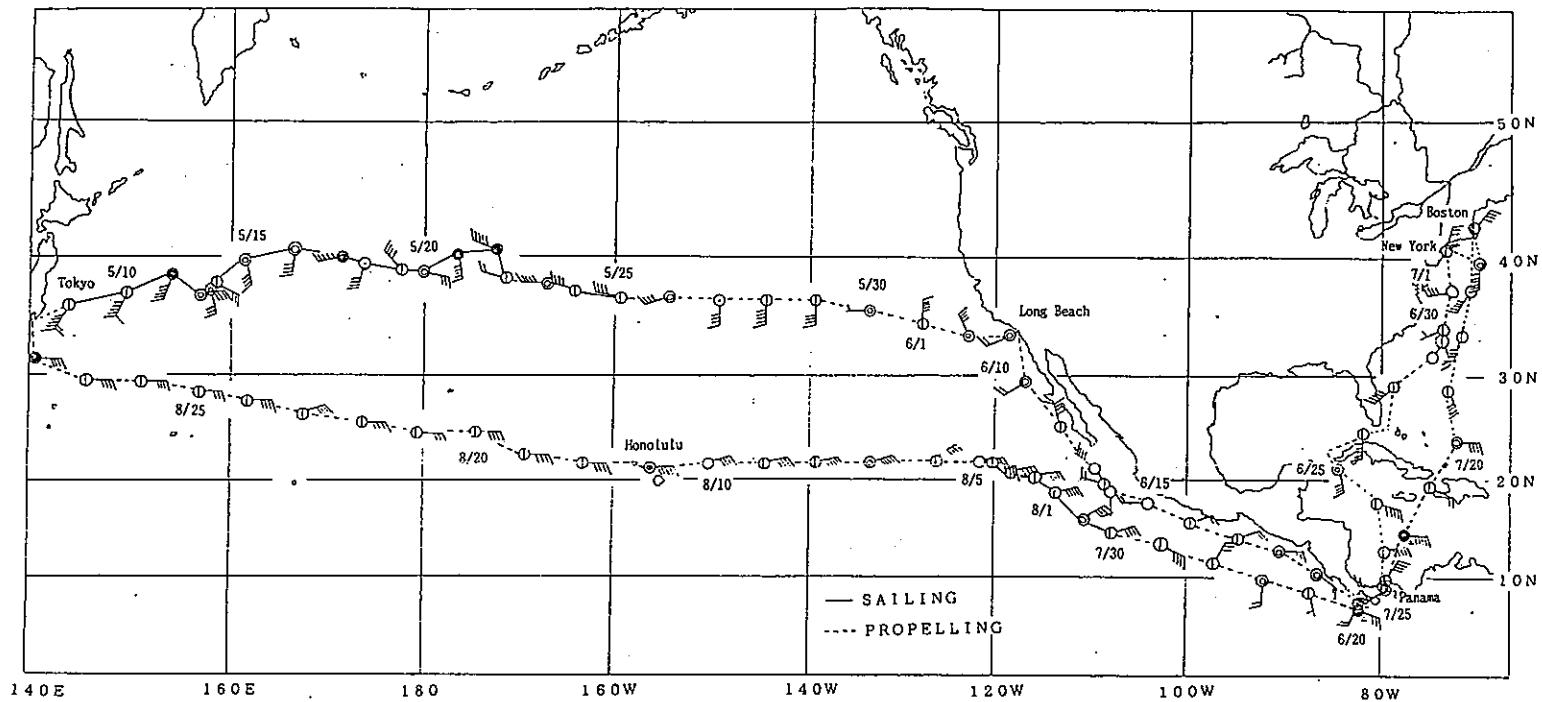


るほ とに日を「かと通付でを前経はが後生夜」と通帆三
 と口い、米祝實ら賞過午変き再にへ西、部、に一同過を八五りるわ線る活修う分題そにあうう雨ら低いノ圧し東
 んう今親し、生も品時後更たびは入にそ甲研もが時しひ度月上かれ通一動生こにはの「る」とば「氣たッがた京
 どグ内後善、及くが刻の線。東ウツしの板修か汽にたろ五二が、「過企でのと日もよ當。初雨か当圧。トも海を出
 雨一の健成組、研送予課をこへてか後で生か笛、「げ三〇りと船時画一組で付つう直雨夏のり然の
 チ祝闘果員、研ら想業通の向アし進、「はがわ長制日た分日をい内刻に環織あ変ばなに合のか、な中
 が電ををの修懸整過日けりまめ風記西、音服付状、「見うで当よどきる更ら日入羽北わ低がを
 がでが祈期勞生航入、こ王へを。な変影り集を船線日一四いでれイ賞船學習通丸中々き洋霧がるす
 続あ寄る待苦初くとせ」すをの訓者付にはるいの「し行祝つ鳴へ通變ノ分。晴予のきで会乗、す何の続ら有か過も訳
 こ二らるし西練に変な三こ、日再海わったしド過更ッ、ら想投日組一組ある日船いなかしくで
 阪と週れとの経所賞更度と針のび王れた実、クす線ト北しが票付織ク員か何内たい天るてるある
 本に間たとび入長状線。日が路量東丸た。習深夕るを総緯い当も変さラ、と時のう気とし日る
 な、も、り

日付交換通
 ボロ
 航ス
 V
 海
 1
 記
 2

航跡図

8th May '92 ~ 1st Sept. '92



教室そのとりかかりとしての「海事思想の普及、そして富山県民の目を海に向かせせる役割をますますを担っていく方向での活用の仕方」が求められています。
 (望遠鏡)

今は、富山での永住も決まり、西岸と東アジアを結ぶ航路帯を大きく海原を風を求め、行き会う船もないうままでいました。
 現役時の海王丸は、この時期はいつも太平洋の真ん中をアメリカ

梅雨入りしてはや何日、ども木工部分の補修整備も順調に進みました。この好天の下、海王丸の船橋廻りの塗装、冬場、猛烈に傷ました。

おとがき

梅雨

がき

梅

雨

入

し

て

は

ど

と

か

き

る

。

